

地域デザイン特論(web講義も選択可)
地域の向かうべき方向はどこか、どのようなまちづくりを推進すれば良いのか。この解答を得るために「地域診断法」の手法を用いて複眼的に地域を見つめ、その本質を見出すノウハウを修得します。

地域を知る力

地域を動かす力

地域マネジメント特論(web講義も選択可)
地域資源を活かした持続可能なコミュニティ、活力ある地域コミュニティをいかに創造するのか。基礎理論と先進的な取り組みを学びつつ、地域主体の「コミュニティ・ビジネス」のプランニングノウハウを修得します。

地域再生システム特論(夏期集中)
具体的なフィールドを対象にした提案づくりを通じて、地域住民、大学生等の多様な主体の参加のもとで、まちづくりにおけるファシリテーション能力を鍛えます。

プロジェクト推進力

成熟社会デザイン特論
人口減少時代の成熟社会の構築に必要とされる基礎知識や理論、様々な事例やノウハウを最新の研究・実践成果から学びます。

基礎知識・理論

サステナブルデザイン特論
持続可能な社会づくり、地域づくりを実践するための様々な先進技術、伝統技術について、最先端の研究者や技術者からその概要・仕組み、活用方法を学びます。

現場で生きる！実践的まちづくり力 / ネットワーク力

近江環人 コミュニティ・アーキテクト

<http://ohmikanjin.net/>



近江環人(コミュニティ・アーキテクト)とは「地域の時代」を切り拓く人財です

人口減少時代を迎えた日本は、文化や環境などの地域特性を生かし、生活の豊かさを楽しむ成熟社会へのパラダイムシフト(価値転換)が求められています。私たちには地球環境へ配慮しつつ、グローバルな視野を持ち、多様な住民を主体とした地域再生への挑戦が必要です。近江環人地域再生学座では、湖国近江をフィールドに、地域診断からまちづくり活動の実践まで、地域における多様な活動や挑戦のための知識・手法の教授を通じて、地域資源を活用した地域課題の解決や地域イノベーションを興し、新しい地域社会を切り拓く、イノベーターやコーディネーター:「近江環人(コミュニティ・アーキテクト)」の育成を目指します。

写真は過去の実施風景でイメージです。

受講スケジュール(必修12単位・選択2単位)

(授業は金、土、日曜に実施。1年間又は2年間で受講)

前期(4月～9月)

- ・地域デザイン特論A(web講義はB) 前半1単位
- ・地域マネジメント特論A(web講義はB) 後半1単位
- ・成熟社会デザイン特論 2単位
- ・コミュニティ・プロジェクトI 1単位
- ・実践現場体感特別講義I 1単位
- ・(選択)地域再生システム特論(夏期集中) 2単位

後期(10月～2月)

- ・地域再生学特論 前半1単位
- ・地域イノベーション特論(web講義)後半1単位
- ・サステナブルデザイン特論 2単位
- ・コミュニティ・プロジェクトII 1単位
- ・実践現場体感特別講義II 1単位

検定試験 2月 (小論文と面接)

*日程・時間等詳細はスケジュール表をご覧ください。

社会人×大学院生 ともに学び合う

近江環人地域再生学座には「大学院副専攻コース」と「社会人コース」が設定されています。大学院生の柔軟な発想と、社会人の経験がコラボレーションすることが高く評価されています。

実践力

コミュニティ・プロジェクトI、II
受講生の現場や教員のフィールドにおいて、担当教員の指導のもと、地域コミュニティと対話し、地域再生・まちづくりプロジェクトを実践します。ゼミ形式で目標管理、情報交換を行いながら推進します。

実践ノウハウ

地域イノベーション特論(web講義)
県内外の革新的な地域イノベーション実践事例からそのノウハウを学びます。

現場力

実践現場体感特別講義I、II(現場視察)
県内外のまちづくり、地域づくりの先進地を訪問し、現場で実践者から講義を受けることでそのノウハウを学ぶとともに、ネットワークを広げます。

コーディネート力

ネットワーク力

地域再生学特論
長浜、彦根、近江八幡、東近江、米原、高島、大津など湖国・滋賀県の地域再生、まちづくり、地域活性化の先進事例を、プロジェクトに携わった実践者の生の声から学びます。実践ノウハウと実践者とのネットワーク構築を目指します。